



様式第4号（第7条関係）

令和7年10月16日

東かがわ市議会議長
工藤正和様

東かがわ市議会議員
(会派)・個人・その他)
氏名 大田稔子

行政視察等報告書

1	日 時	令和7年9月29日～令和7年9月30日	
2	参加者	田中貞男 大田稔子 橋本 守 工藤正和 堤 弘行	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		田んぼアートの取組について	青森県田舎館村
		まち・ひと・しごと創生総合戦略における各種事業について	宮城県大和町
4	研修・調査内容	田舎館村の「田んぼアートの取組みについて」は、地域文化の継承や持続的に発展できる地域づくり等について調査した。 大和町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略における各種事業について」は、その事業内容や成果について調査した。	
5	研修成果	別 紙 (感想・今後の取り組み等)	
6	費 用	105,350円	

※領収書(交通費・宿泊費の明細が分かるもの)、研修資料を添付してください。

東かがわ市議会議長

工藤 正和様

東かがわ市議会議員

同友志会 大田稔子

行政視察研修報告書

【田んぼアートを取組について】 青森県田舎館村

1. 田んぼ後から田んぼアートへ

当初、村産米の PR から農業のおもしろさをより多くの人に伝えるために色の異なる稲を使い文字を描いている。

2. 事業の実施体制

- ・村長・商工会・農協組合・村職員等のむらおこし推進協議会を立ち上げて図柄、育苗等、設計図の作成、杭打ち、田植えと、住民の意識醸成にも努めていた。
- ・田んぼアートの取り組みで大変な事は、図柄の選定、関係者との作業工程の調整、観覧のための準備、クレーム対応、自然との闘いとのこと。

3. 研修成果

- ★ 広大な田んぼの中の作品は素晴らしかった。人口約 7300 人で観光村に繋がっている。役場庁舎内にある第一田んぼアート、田舎館村展望台階からの観覧は圧倒された。田んぼアートは、2 カ所あり、第 2 田んぼアートは、道の駅田舎館「弥生の里」敷地内に展望台があった。本市での、この観光事業は様々な観点から難しいと感じた研修であった。

【まち・ひと・しごと創生総合戦略における各種事業について】 宮城県大和町

1. 視察の目的

- ・「地方創生の実践事例（まちづくり政策課、子ども家庭課、商工観光課からの研修を学び本市の地域施策への応用を検討するため。

2. 研修成果

- ・地域住民との協働による施設運営が、持続可能性を高めていた。
- ・緑豊かな自然に恵まれた地形であり、合併 70 周年。
- ・産業集積による経済活力は素晴らしい。平成 21 年に工業団地ができトヨタ自動車等雇用により若い世代が移住した。やはり働く場所（企業誘致）は、一丁目一番地のように感じた。
- ・企業立優遇制度概要に投下固定資産額→2,800 万円以上という該当条件があった。優遇を受けるには、最低でも 2,800 万円以上の投資が必要。中小企業やスタートアップにはちょっと高めと感じた。
- ・交通アクセスとインフラも良好→工業団地やリサーチパークが整備されていて、物流や通勤にも便利。
- ・対象業種が幅広い→製造業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、研究施設など多岐にわたる業種
- ・奨励金の分割交付→一括でもらえるわけではなく、最大 3～5 年かけて分割交付されるから資金繰りに注意が必要。
- ・子育て世帯等移住・定住応援事業では、基礎額+加算額があり、本市も取り入れてはと考える。地域の声を活かした施策設計の重要性を再認識した。

先進地の事例を参考に本市で取り組むよう努めたい。